

奈良県中央卸売市場の再整備に対する支援

要望内容

奈良県中央卸売市場の再整備において、食の安全・安心の確保、物流の効率化、デジタル化・省力化技術の活用等を推進するため、令和9年度における「卸売市場緊急整備事業交付金」の予算確保及び事業採択

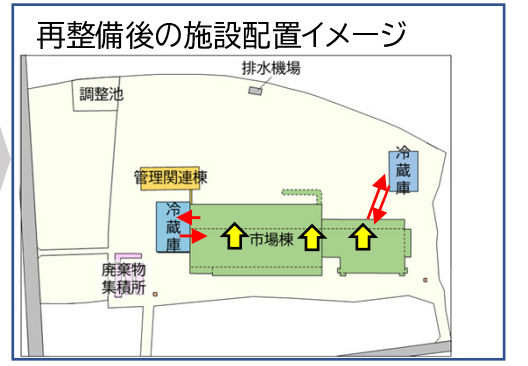
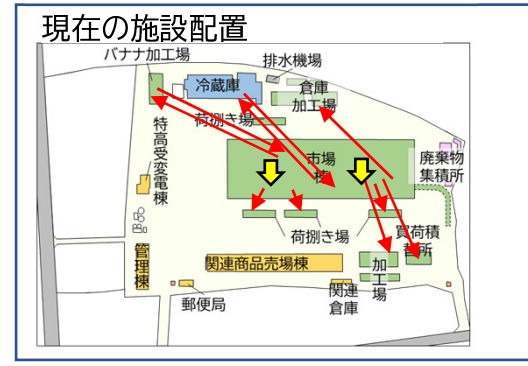
【農林水産省】

現状・課題

- 市場開設から49年が経過し、**施設・設備の老朽化**が進み、市場運営に支障をきたしているとともに、**衛生管理が不十分**で、食の安全・安心を求める実需者のニーズに応えられていない。
- 敷地内に建物が点在しているため**物流動線が錯綜**しているとともに、荷物の搬出入や積み込みにかかる時間など**非効率**が発生。
- 人口減少・少子高齢化や流通構造の変化（産直取引・Eコマースの増加等）による市場外取引の増加や消費者ニーズの変化に対応できておらず、**取扱高が減少傾向**。

本市場の競争力を強化し、県民に対し、多種多様で安心・安全な生鮮食料品等を安定的に供給するため、**老朽化した市場施設の建て替え、市場機能の高機能化・効率化を図る市場再整備が必要**

令和7年度補正予算において創設された「卸売市場緊急整備事業交付金」の継続的な予算措置を要望



取組

事業費：約400億円 整備手法：PFI (BT方式)

- 食の安全・安心の確保**
 - ・コールドチェーンに対応した閉鎖型施設、天候の影響を受けずに荷卸しや積み込みを行うことができる大屋根等を整備
 - ・HACCPの考え方による衛生管理を実施
- 物流の効率化・市場施設のコンパクト化**

現在の市場 約72千㎡
再整備後 約52千㎡ (27%縮小)

 - ・物流動線を整理し、食の流通拠点機能を最大限に発揮
 - ・複数の市場事業者が共同で加工業務を行う共同加工場を整備
- 立地の良さを活かした物流拠点の整備**
 - ・トラック待機場の整備、運転手の休憩場所を確保
- デジタル化・省力化技術を活用した合理化**
 - ・DX化に対応した施設整備
 - ・トラック予約システム及び駐車場管理システムの導入
- コンパクト化により生み出された余剰地の活用**
 - ・市場の機能強化、活性化に資する施設の誘致

- 【開業目標年度】
- 市場エリア
 - 令和13年度（工事完了は令和15年度）
 - ※令和8年度に事業者募集の再公告、事業契約締結、事業着手
- 賑わいエリア
 - 令和17年度（現時点における想定）

